





©浦野俊之

二人の巨匠が描き出す情熱と郷愁

日本フィル桂冠名誉指揮者・小林研一郎が語り、導く「コバケン・ワールドvol.43」。
清水和音の奏でる流麗なピアノによってリストの協奏曲第1番が華やかに輝き、
続くドヴォルジャーク交響曲第8番は豊かなメロディと田園的な温もりで聴衆を包み込みます。
サントリーホールの響きで生まれる対話と情感の深まりを、ぜひその場で体感してください。

小林研一郎 [桂冠名誉指揮者]



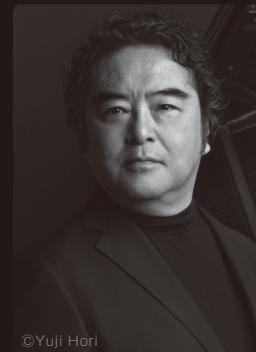
©山本倫子

“炎のコバケン”の愛称で親しまれる日本を代表する指揮者。東京藝術大学作曲科、及び指揮科の両科を卒業。1974年 第1回ブタペスト国際指揮者コンクール第一位、及び特別賞を受賞。2002年プラハの春音楽祭では東洋人初のオープニング「わが祖国」を指揮して万雷の拍手を浴びた。これまで国内外のオーケストラと共に演を重ね、数多くのポジションを歴任。ハンガリー政府よりハンガリー国大十字功労勲章等、国内では旭日中綬章、文化庁長官表彰、恩賜賞・日本芸術院賞等を受賞。2005年、社会貢献を目的としたオーケストラ「コバケンとその仲間たちオーケストラ」を設立、以来全国にて活動を続けている。

現在、日本フィル桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィル・名古屋フィル・群響桂冠指揮者、読響特別客演指揮者、九響名誉客演指揮者、東京藝術大学・東京音楽大学・リスト音楽院名誉教授、ロームミュージック ファンデーション評議員等を務める。

公式ホームページ <https://maestro-kobaken.com>

清水和音 (ピアノ)



©Yuji Hori

完璧なまでの高い技巧と美しい弱音、豊かな音楽性を兼ね備えたピアニスト。

ジュネーヴ音楽院にて、ルイ・ヒルトブラン氏に師事。1981年、弱冠20歳でロン＝ティボー国際コンクール・ピアノ部門優勝、リサイタル賞受賞。これまでに、国内外の数々の著名オーケストラ・指揮者と共に演。室内楽の分野

でも活躍し、共演者から厚い信頼を得ている。

デビュー30周年の2011年には、ラフマニノフのピアノ協奏曲第1番～第4番とパガニーニの主題による狂詩曲を一挙に演奏。2014～2018年には年2回のリサイタル・シリーズ「清水和音 ピアノ主義」を開催。幅広いレパートリーで聴衆を魅了した。2016年4月からは、年6回の室内楽シリーズ「芸劇プランチコンサート」を開始。デビュー40周年となった2021年秋には「清水和音 ピアノの祭典」と題し、ソロから室内楽まで4時間を超えるプログラムで大きな存在感を示した。

桐朋学園大学・大学院 教授。

〈コバケン・ワールドVol.43～45〉3回セット券 好評発売中

S¥15,400 A¥12,300 B¥10,200 P¥8,000 Gs(70歳以上)¥9,800

Vol.43

2026年4月18日(土)午後2時開演

サントリーホール

〈ピアノ〉清水和音

リスト: ピアノ協奏曲第1番

ドヴォルジャーク: 交響曲第8番

Vol.44

2026年9月27日(日)午後2時開演

サントリーホール

〈ヴァイオリン〉周防亮介

ブルッフ: ヴァイオリン協奏曲第1番

ベルリオーズ: 幻想交響曲

Vol.45

2027年3月6日(土)午後2時開演

横浜みなとみらいホール

〈フルート〉真鍋恵子 [首席奏者]

〈ハープ〉松井久子

モーツアルト: フルートとハープのための協奏曲

ベートーヴェン: 交響曲第7番